



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2011～2012年度
国際ロータリーのテーマ
まごころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011～2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

創会 立 1980年(昭和55年)1月10日
幹事 長 高須 洋志
副 長 事 馬場 将嘉
クラブ広報委員長 関谷 俊征
例会 日 毎週木曜日PM12:30～
場 ヒルトン名古屋

事務局 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
E-MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

第1540回例会

2012年2月21日(火) 晴 第30回

司 会 : 有川英敏さん・三島多恵子さん
点 鐘 : 三浦和人西名古屋分区ガバナー補佐
斉 唱 : 「君が代」「奉仕の理想」

第一部 式典

歓迎の言葉: 三浦和人西名古屋分区ガバナー補佐

本日は多数の方にお集まり頂きありがとうございます。このI.M.によって会員の皆様
が親睦を深め、ロータリーへの理解をさらに深められれば幸いです。ホストクラブの名南
RCの会員の皆様にも深く感謝しております。松前ガバナーはガバナー会議のため欠席し
ておりますが、皆様へのメッセージをお配りしましたので是非お読み下さい。松前ガバ
ナーに代わり、1つだけお願いしたい事がございます。松前ガバ
ナーは会員数5,000名を超えてから来年度へバトンタッチしたい
と仰っております。一時は4,900名程まで増えましたが、今は
4,880名と減ってしまいました。なんとか6月迄に5,000名を超え
るよう、改めて会員数拡大を皆様をお願い致します。



本日は常磐津文字兵衛さんと安田文吉さんの講演がございま
す。常磐津文字兵衛さんには江戸時代の音楽、安田文吉さんには
江戸時代の人々の暮らしをご紹介します。先週、東名古屋分区
のI.M.に出席した際は養老孟司先生の講演がございました。養老
先生は「現代の日本では個人が消費する内部エネルギーの40倍
もの外部エネルギー(電気・ガス・交通など)に依存して生きてい
る」と仰っていました。その結果どうなるかという個々の人々の
能力が低く見られてしまうそうです。江戸時代に比べ、非常に便
利になりましたが、その分、マンパワーの価値が低くなっていると
ご指摘なさいました。第二次世界大戦では欧米諸国が対日石油
輸出禁止を行った時、日本がどれだけ困ったでしょうか。農業は
人の手によって行い、電力は水力発電が中心、火力は石炭、漁業
は風と櫓を漕ぐ力を使っていた当時の日本人の生活にとって、石
油がなくてもそれほど困らなかったそうです。ただ戦闘機・戦車・
駆逐艦・魚雷艇などを動かさない日本軍は困り、東南アジアの油
田地帯を確保したいと更なる戦争が始まりました。江戸時代は原
油の輸入は全くありませんでした。しかし歌舞伎など様々な文化
が発達していました。もしかしら日本人の生活に石油は必要ない
かもしれません。石油がないと困ると思いますが、江戸時代
の生活を考えたら、それほど難しいことではないかもしれません。
養老先生は環境やエネルギーの問題を論じられ、環境にとっても
40倍もの外部エネルギー消費を減らす事が必要だと仰っていま
した。ガバナー補佐として色々な会合に参加させて頂き、非常に
勉強になっています。ガバナー補佐会議でも温かく迎え入れて頂
き、楽しく会話させて頂きました。この場を借りまして、皆様へお
礼申し上げます。ありがとうございました。

本日は常磐津文字兵衛さんと安田文吉さんの講演がございま
す。常磐津文字兵衛さんには江戸時代の音楽、安田文吉さんには
江戸時代の人々の暮らしをご紹介します。先週、東名古屋分区
のI.M.に出席した際は養老孟司先生の講演がございました。養老
先生は「現代の日本では個人が消費する内部エネルギーの40倍
もの外部エネルギー(電気・ガス・交通など)に依存して生きてい
る」と仰っていました。その結果どうなるかという個々の人々の
能力が低く見られてしまうそうです。江戸時代に比べ、非常に便
利になりましたが、その分、マンパワーの価値が低くなっていると
ご指摘なさいました。第二次世界大戦では欧米諸国が対日石油
輸出禁止を行った時、日本がどれだけ困ったでしょうか。農業は
人の手によって行い、電力は水力発電が中心、火力は石炭、漁業
は風と櫓を漕ぐ力を使っていた当時の日本人の生活にとって、石
油がなくてもそれほど困らなかったそうです。ただ戦闘機・戦車・
駆逐艦・魚雷艇などを動かさない日本軍は困り、東南アジアの油
田地帯を確保したいと更なる戦争が始まりました。江戸時代は原
油の輸入は全くありませんでした。しかし歌舞伎など様々な文化
が発達していました。もしかしら日本人の生活に石油は必要ない
かもしれません。石油がないと困ると思いますが、江戸時代
の生活を考えたら、それほど難しいことではないかもしれません。
養老先生は環境やエネルギーの問題を論じられ、環境にとっても
40倍もの外部エネルギー消費を減らす事が必要だと仰っていま
した。ガバナー補佐として色々な会合に参加させて頂き、非常に
勉強になっています。ガバナー補佐会議でも温かく迎え入れて頂
き、楽しく会話させて頂きました。この場を借りまして、皆様へお
礼申し上げます。ありがとうございました。

次年度ガバナー補佐挨拶

大橋昭治次年度西名古屋分区ガバナー補佐

名南RCの皆様、本日は多くの方々とお会いできる機会を与え
て頂き、ありがとうございます。2760地区の西名古屋分区は日本
のRC全体から見ても、伝統があり、人数も多く、かつ出席率も高
いです。名古屋RCを先頭に10RCがスクラムを組み、これからも
ずっと伝統を受け継いで頂きたいと思えます。次年度の西名古屋
分区ガバナー補佐を務めることになり、身の引き締まる思いです。
最近のRCはメーキャップする機会が非常に少なくなり、他の名
古屋市内のRCの事情も分からない会員が増えています。I.M.は
他のクラブの皆様と手を結ぶ良い機会ですので、最後まで参加
し、出来る限り他のRCの方々とお話させていただきたいと思えます。

次年度I.M.ホストクラブ会長挨拶

田口望名古屋名駅RC会長エレクト

名古屋名駅RCが次年度(2012-2013年度)のI.M.ホストク
ラブを務めることになっています。次年度I.M.開催にあたり、ご挨拶
させていただきます。現在、当クラブ一丸となり、会員相互の親睦と面
識を広めることを目的とし、実り多く楽しい企画を検討しておりま
す。開催日は平成25年2月20日(水)の午後からを予定していま
す。その他、詳細につきましては決定次第ご報告させていただきます。
何卒ご理解、ご協力の程よろしく申し上げますと共に、皆様のご参
加を名古屋名駅RC一同心よりお待ち申し上げまして、ご挨拶に
代えさせていただきます。

講演「名古屋開府400年と名古屋の底力」

南山大学人文学部教授 安田文吉氏



安田文吉氏は解説者や大学院国際地域
文化研究科課程の指導教授など多方面
のご活躍をされている行動派人文学者です。
「お招き頂き、ありがとうございます。本日は
『なぜ徳川家康は名古屋城天守閣に金鯱を
乗せたのか』『受け継いだ七代藩主・徳川宗
春』を中心にお話させていただきます。」

講演「江戸期のポピュラーミュージック～常磐津節～

実演を交えて」 五世 常磐津文字兵衛氏



常磐津節は江戸町人文化
の音楽です。日本の伝統音楽
は伝承した階級により、ジャン
ルが違います。武家階級の能
楽、中流武家以上の子女が
習った箏曲、歌舞伎と共に発
展した町人文化の三味線音
楽、僧侶・神官階級の雅楽など
です。音楽の背景を考えてみる
と興味が湧くと思えます。

謝辞:山本誠一I.M.実行委員長

安田先生のお話と文字兵衛先生の演奏はいかがだったでしょうか。昨年安田先生に講演のお願いに行った際、常磐津節のお話が出たので、常磐津先生が名古屋公演の時に私共のクラブホームキャップに来ていただいたお話をしました。安田先生から「常磐津節を聴く機会はなかなかないので、連絡を取ってお願いしてみても」とご提案頂き、文字兵衛先生に連絡すると快諾して頂きました。安田先生、文字兵衛先生共に、懇親会にもご出席頂けるそうなので、お話の続きはそちらでお聞き下さい。西名古屋分区のRCの皆様には多数のご登録を頂き、本日のI.M.を盛大に開催できたことを大変嬉しく思っております。皆様のご協力とご支援に感謝しております。ありがとうございました。

第二部 懇親会

歓迎の言葉:山本郁矢名古屋名南RC会長

本日、西名古屋分区のI.M.を開催させて頂いた名古屋名南RC会長の山本郁矢です。お忙しい中、このように多くの方々にご参加頂きまして、誠にありがとうございます。先程お話し頂いた江戸文化を話題にしながら、更に懇親を深めて頂き、交流の輪を広げて頂ければ幸いです。お時間の許す限り、ごゆっくりとお過ごし下さい。ありがとうございました。

特別出席者代表挨拶:盛田和昭パストガバナー

2月14日の東名古屋分区のI.M.では、東京大学の養老孟司先生が環境についてお話し頂きました。2月19日の西三河分区のI.M.では「ポール・ハリスはなぜロータリーを作ったのか」「今のロータリー」についてディスカッションをしました。I.M.の内容を見ると、名古屋と三河では性格が違うのが分かります。昔で言うと信長と家康の違いでしょうか。三河には真面目な方が多く、ガバナー公式訪問の時に鋭い質問をされ、参ったこともありました。どちらが良いかは分かりませんが、同じロータリアンでもかなり性格が違います。名古屋で三河のようなI.M.を行うと参加者が減ってしまうかもしれないので、これで良いのだと思います。

乾杯:内藤明人パストガバナー

本日は大変素晴らしい伝統ある尾張名古屋のロータリーに相応しいお話を行かせて頂きました。尾張名古屋の伝統を継承し、大いに役立てていきたいと思っております。我々の前途を祝して、乾杯！

フルート四重奏「アンサンブル・エリーゼ」演奏



閉会の挨拶:伊藤博昭名古屋名南RC副会長

本日はお忙しい中、多数ご参加頂き、誠にありがとうございます。お陰をもちまして2011-2012年度 RI2760地区 西名古屋分区のI.M.を無事に終了することが出来ました。至らぬ所、不備な点など多々あったと思いますが、お許しを頂戴したいと思います。特別出席者の方々に始め、本日までご参加頂い



た全ての方に心より御礼を申し上げます。最後となりますが、南山大学の安田文吉先生、常磐津文字兵衛先生には、来て頂いたことを誠に感謝しております。ありがとうございました。

ロータリーソング「手に手つないで」

ソングリーダー:川辺清次さん

懇親会風景



出席報告

会員68名 出席42名 (出席計算人数50名)

出席率 76.4% 2月16日は補填により 95%

例会のご案内

■2月23日(木) 振替により休会

■次週の卓話 3月1日(木)

卓話講師:オイスカ中部日本研修センター所長
新屋敷道保さん

テーマ: NGO活動の50年の歩みと今後

■次々週行事 3月8日(木) I.D.M.

場所: ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時間: 18:00~20:00